

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
農事組合法人ゆめの里かずら	組合員28名	奈良県宇陀郡曽爾村葛794	本格的な事業展開に向けた組織運営の基盤強化(農産加工(焼酎))	専門家支援3回

## 相談内容・現状課題

### ■相談内容

H28年9月に法人を設立し、村内産米を使用した甘酒の加工販売などに取り組んできた。さらに、H30年2月に焼酎の酒造免許を取得し、焼酎製造販売を開始した。今後事業を拡大していきたいと考えているので、経営計画や税務等についてアドバイスを受けたい。

### ■現状課題等

- ・今年から焼酎の製造販売を始めたばかりで、短期計画はあるが、長期的な経営計画が策定されていない。
- ・まだ製造能力の半分程度の生産量であり、正確な原価も把握できていない。
- ・顧問税理士をおいておらず、日常の経理や税務申告について、適正な事務処理ができているか不安を感じている。
- ・商品名の商標登録のことがわからず、登録可能かどうかわからない。



## サポート協議会の支援体勢・改善提案 (問題解決方法)

### ■支援内容

派遣した専門家3名(中小企業診断士、税理士、弁理士)から以下のような提案や指導が行われた。また、サポート協議会の一員である県商工会連合会から新たな販路先の紹介を行った。

①マーケティングの4Pのうち、販路(Place)と販促活動(Promotion)対策が急務であると指摘し、販路拡大やPR活動について提案した。

担当:中小企業診断士

②経理内容から製造原価を推測し、原価率の高さを指摘するとともに、最低製造数量である10kl/年の達成に向けた長期(3年)経営計画の考え方を提案した。

担当:中小企業診断士

③日常の帳簿処理や過去の税務申告について、修正すべき点などを指摘し、正確な経理事務を指導した。

担当:税理士

④商標制度について説明するとともに、先行登録商標に関する情報を提供し、商標登録の手続等を具体的に指導・助言した。

担当:弁理士

## 支援の成果・その後の状況

### ■支援の成果・その後の状況

- ・販路拡大や販売促進活動については、曽爾村農林業公社等の協力を受けながら、新たな販路開拓を進めており、将来販路先として有望と思われる取引先への商談も積極的に行っている。
- ・総勘定元帳の記載内容等が、より適切なものに改善され、5月に行う今期分の税務申告でも改善が期待される。
- ・専門家の助言により、新たに商標登録を行うこととし、知財総合支援窓口の支援を受け手続きを進めている。
- ・製造、販売、経理といった法人運営のすべてに貢献してきた地域おこし協力隊員が任期終了となるため、後任育成が急務であると思われる。

### ■コーディネーター所感

今回の支援により、製造数量の増加に伴う販路拡大のため、紹介した各商談会に参加するなど計画的に取り組みを実施しており、徐々に販路先が広がっている。商標については支援活動を通じ登録の必要性を認識し、今回の支援活動で速やかに対処することができた。また、経理等担当者の人材育成が急務となっており、組合内での経営管理体制の構築など支援を継続していく必要がある。